



## 大日本住友製薬新化学研究棟 (LR-12)

所在地：此花区春日出中 3-1-98

主用途：研究所、事務所

事業者：大日本住友製薬株式会社

設計者：プラス株式会社/株式会社竹中工務店

## 〔建築概要〕

延床面積：16,322.32m<sup>2</sup>

階数：地上8階

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造

完了：平成25年5月

## 〔CASBEE 大阪における評価〕

サステナビリティランキング：A

建築物の環境性能効率(BEE)：1.9



## ■コンセプト

人と地球に配慮した施設環境の構築

—GreenLaboratory の実現を目指した省エネルギー対策を実施

## 【独創性・先進性】

- ・執務エリアは快適性と省エネに配慮した照明空調計画を実現  
空調：顕熱潜熱分離空調＋放射兼用パーソナル空調  
照明：ライトシェルフ＋人感センサー制御＋明るさセンサー制御  
＋タスクアンビエント照明
- ・実験エリアは排熱回収やヒュームフードのサッシ開度と連動した高速 VAV 制御及びヒュームフードサッシの人感センサー制御などを採用し、外気負荷低減に配慮した空調換気計画を実現



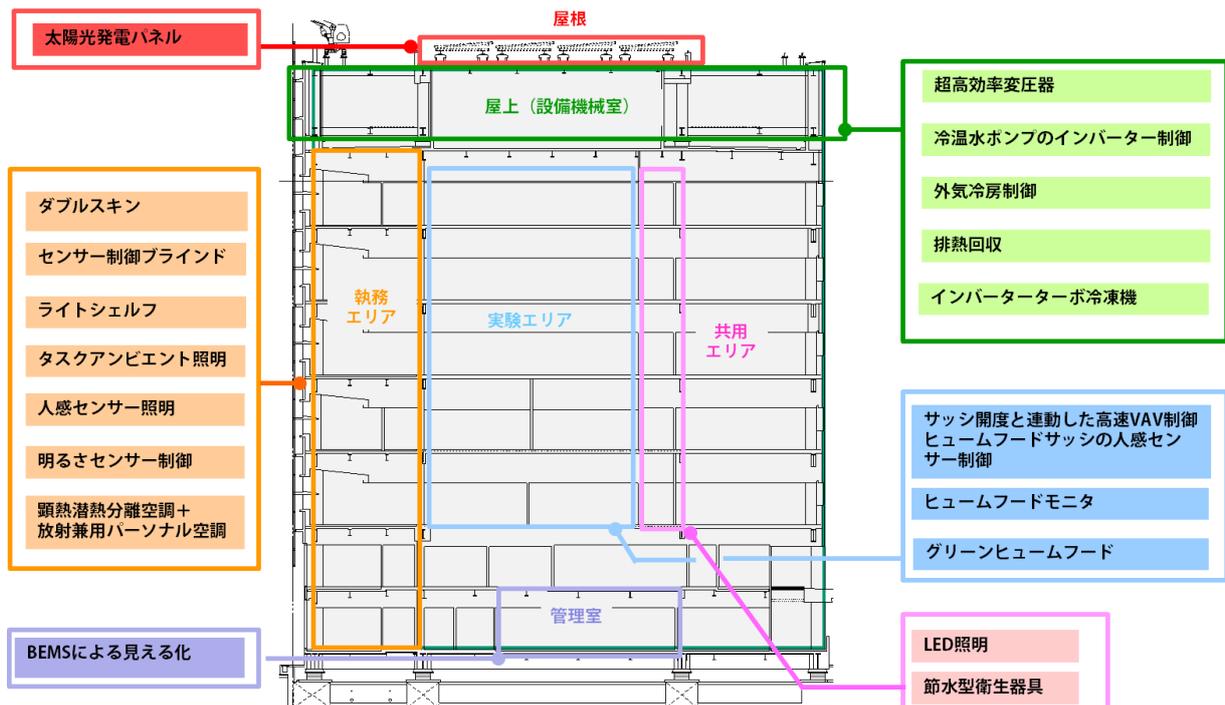
執務エリア

## 【調和性・統合性】

- ・建物南側のダブルスキンは日射の抑制と南側への圧迫感を低減するデザインを実現
- ・設備機器については屋上目隠し壁内に配置し、周辺のまちなみや風景に配慮
- ・南側窓際の執務室については、アンビエント照明を間接照明とすることで外部への光害に配慮

## 【取組姿勢】

- ・エネルギーを多く消費する傾向がある医薬研究施設において下記に示す様々な環境配慮技術を採用
- ・BEMS によるエネルギーの見える化により運転改善計画に配慮



環境配慮技術のまとめ



## 三井ガーデンホテル大阪プレミア

所在地：北区中之島3丁目1番8号

主用途：ホテル

事業者：三井不動産株式会社

設計者：基本設計 株式会社日建設計

実施設計 清水建設株式会社

## 〔建築概要〕

延床面積：12,741.89m<sup>2</sup>

階数：地上16階、地下1階

構造：鉄筋コンクリート造

完了：平成26年1月

## 〔CASBEE 大阪における評価〕

サステナビリティランキング：A

建築物の環境性能効率(BEE)：1.5



## 〔特長〕

- ・歴史的建造物が数多く残る中之島地区において周辺ビル建設に伴い解体された、旧中之島三井ビルの記憶を継承する、彫の深い陰影のある開口部廻りのデザインにより、RC造の重量感を表現している。
- ・外装は中之島界隈の雰囲気にとけ込むよう、ベージュ系の温かい色合いとし、その中に原色タイルを「差し色」に加えることで、RC造の重厚感に加え、華やかさを演出している。



## 〔環境配慮への取り組み〕

- ・地下にDHCサブプラントを設け、河川水を活用した地域熱供給を活用し、ヒートアイランド抑制に寄与する。他ビルの排熱を熱源として給湯を行うなど、冷熱需要の大きな当地区において、温熱需要の大きなホテルが加わることで、地域単位での熱融通など省エネルギー効果も期待できる。
- ・敷地内には歩道状空地や多目的スペースとなる街園を設け、憩いの場に提供し、地域の活動上のアメニティ向上に貢献する。また緑地や水盤を設けることにより地表面温度の気温等の上昇を抑制する。都市においての生物の移動空間の緩衝帯とし、生物環境の保全と創出を図る。

建築設備に伴う高温排熱は高い位置から放出するため、屋上に設備機器を集約

細かい空調ゾーニングとし冷房・暖房の選択が自由な空調システム  
(空調室外機は無く、排熱が少ない)

河川水利用の地域冷暖房からの供給を受けるサブプラント

